

藤井貫一郎 かたね 評論家。明治二十五年十一月十日東京生れ、昭和二十一年四月七日歿（八六二―九八七）。大正八年東京帝國大學法學部卒業。アメリカ留學後外務省に入り、天津、ニューヨークの駐劄。十二年官を辭して渡應義塾大學講師、翌年三田労働学校講師となり、十五年には社會民衆黨結成と共に入黨、甚津和野藩主藤井治實家の次族出身者が社會運動の加擔した事の一世の注目を浴びた。昭和二年第一回普選で衆議院議員當選。七年社會大衆黨に加はり中共執行委員。わち大政翼賛會東亞部長。戦後公職追放、國際問題の評論活動に従事。著書に『貴族・資本家・労働者』（昭和六年二月、二十五日庶誠堂）、『大東亞民族の途―大共産黨の目標』（昭和十六年四月、二十日野村書房）等。

